

性虐待：子どもの負担を最小限にするために大人がなすべきこと

第15回子ども虐待防止シンポジウム

会場：飯田橋レインボービル

2013年1月12日(土) 学術集会:午前10時00分～午後6時

1月13日(日) 分科会:午前9時30分～午後4時



「この子どもは、性虐待を受けているのでは？」

と疑ったら、どうすればよいでしょう。まずは、第一発見者のための聴き取りプロトコルであるRIFCR™(リフカー)を使って、必要最小限の情報だけを聴き取り、児童相談所や警察に通告・通報することが大切です。そして、通告・通報を受けた児童相談所や警察が相互に連絡を取り合い、検察や医師、その他の機関とも連携して、司法面接と系統的全身診察を実施することが子どもの負担を最小限にする方法です。

このシンポジウムでは、アメリカから招聘した専門家から「子ども虐待の初動調査・捜査における多機関連携チーム(MDT)の必要性」や「児童相談所・警察・検察・司法面接者・医師といった多機関連携チーム(MDT)構成員それぞれの役割」について学びます。

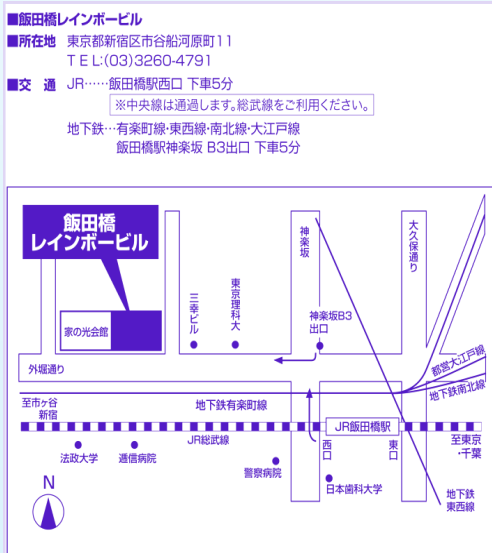
また、「身体的虐待とネグレクトの診断学」や「性虐待被害児に対する系統的全身診察」といった医師向けの分科会や、すでに「RATAC®司法面接研修」や「RIFCR™研修」を修了した方々のためのピア・レビューなども企画しています。(詳しくは、ホームページをご覧ください。)

この機会を決して、お見逃しなく。

参加費：一般 13,000円
 会員 10,000円
 ※学生 6,000円

※大学院生・研究生・有職学生は除きます。

お申込みはホームページから
<http://symposium.childfirst.or.jp>



《共催》

- 認定特定非営利活動法人
 子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク
- 特定非営利活動法人
 かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会

《お問い合わせ》

子ども虐待防止シンポジウム事務局
 〒259-1131
 神奈川県伊勢原市伊勢原1-3-47
 電話：0463-90-2715
 F A X：0463-90-2716
 E-mail: info@symposium.childfirst.or.jp

- 招聘講師 - 【逐次通訳付き】

ヴィクター・ヴィース氏 (NCPTC理事長、元検事)

NCPTC (National Child Protection Training Center)は、NAPSAC (National Association to Prevent Sexual Abuse of Children : 米国子どもの性虐待防止協会)のトレーニングセンターです。

ジェニファー・N・アンダーソン氏 (コーナーハウス副理事長、司法面接者、臨床ソーシャルワーカー)

CornerHouse Interagency Child Abuse Evaluation and Training Center)は、米国に600以上あると言われる「子どもの権利擁護センター」(Children's Advocacy Center: CAC)の草分け的存在です。

スーザン・ライチャート氏 (小児科医)

ケンプ・センターで子ども虐待の研修を受けた後、カリフォルニア州オークランドの子ども病院 虐待対応部門の部長、オレゴン州バンドにあるKIDS Centerの子ども虐待対応部門の部長を歴任。その後、Hands on Healthcare for Children and Adultsを開業し、院長としてご活躍です。